

受講番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

原稿用紙の番号と対応させながら確認してください。

(1)

心がけていることの1つ目には第2段落、2つ目は第3段落で、それぞれ詳しく述べるという構成ですね。それならば、最初から2つあると示すと、よりわかりやすくなります。

「私が普段心がけていることは二つあります。一つ目は嫌なことがあっても表情に出さないことです。二つ目は特定の人に違う態度を取らず、皆へ同じように接するということです。」  
としてみてもはどうでしょう。

(2)

「達」「通」「巡」の「しんにょう」が崩し字になっています。  
もちろん、読めるので大きな減点にはなりません。注意が必要です。  
トメ・ハライを意識して3画で書く練習をしてみてください。

(3)

「表に表して」は重複表現（「頭痛が痛い」「朝食を食べる」などと同じ）です。  
大きな減点ではありませんが、「表に出して」とするのが適切です。

(4)

十分に説得力のある説明ですが、具体的な体験談や実例が出てくれば文句なしです。  
この段落の最後に入ると更に説得力が増します。

(5)

(4)と同様、こちらも丁寧に説明できています。  
やはり、具体的な事実を段落の最後に入れられたら、申し分ありません。

(6)

「～したい+です」は、厳密に言えば、誤った使い方です。  
実際には許容されており、国語の教科書でも例文に登場します。  
しかし、もともと、「です」は「だ」の丁寧形なので、「だ」をつけておかしなときは「です」はつけるべきではないと考えてください。  
今回でいえば、「持ちたいだ」は誤りなので、「持ちたいです」も誤りということになります。  
「持ちたいのです」または「持とうと思います」「持つつもりです」とすれば、解消されます。